

育苗箱施用での一般的な注意事項

育苗箱施用により防除するときには次の事項を守る。

- (1) 薬剤により施用量及び使用回数が異なるので、使用前に必ず確認する。
- (2) 育苗箱施用は葉に露のない時に行い、施用後、葉に薬剤がついているときは払い落とす。
床土が湿り過ぎていたら水をよく切ってから散布し、施用後に十分かん水する。
- (3) 緑化不十分な苗や軟弱徒長した苗には薬害がしやすいので使用を避ける。
- (4) 育苗箱の薬剤施用は、決められた施用時期を守らないと薬害が出やすいので注意する。
- (5) 育苗箱に薬剤施用した苗は、田植後水が不足して、田面が露出すると薬害が出やすいので十分かん水しておく。
- (6) 育苗箱施用剤は施用量を守り、田植後は水田の水が直接河川に流れ出ないように7日間程度湛水状態に保ち、落水、かけ流しはしない。
 - a) ウィンを含む薬剤はピーマン・シシトウに薬害を生じるため、近接で使用しない。
 - b) 本県ではMBI-D剤耐性いもち病菌が発生している。また、近年、他県ではQoI剤耐性いもち病菌が発生し問題となっている。本県でも発生が懸念されるため、耐性菌の発生リスクが高い薬剤を使用する場合は、連用を避けるなど適切に使用する。

詳細は、

日本植物病理学会殺菌剤耐性菌研究会「イネいもち病防除における QoI 剤及び MBI-D 剤耐性菌対策ガイドライン (<http://www.taiseikin.jp/guidelines/>)」を参照する。

稲(育苗箱):単剤(殺菌剤)

令和8年1月31日現在

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	いもち病(苗いもち)	褐条病	こま葉枯病	白葉枯病	苗立枯細菌病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(リゾープス菌)	苗立枯病(トリコデルマ菌)	苗立枯病(フザリウム菌)	苗立枯病(白絹病菌)	もみ枯細菌病	幼苗腐敗症(イネもみ枯細菌病菌)	幼苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	
オリゼマト粒剤	プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり20~30g	移植3日前~移植前日	○				○									○		
カスミン液剤	カスガマイシン液剤	1回	4~8倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり希釈液50ミリリットル	覆土前		○	○			○									○	
カスミン粒剤	カスガマイシン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり30g	は種前						○									○	
			育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり15~20g	覆土前							○									○
			育苗箱(30×60×3cm、覆土約1リットル)覆土1リットルあたり15~20g	覆土前							○									○
ダコニール1000	TPN水和剤	2回以内	1000~2000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり1リットル	は種時~緑化期(但し、は種14日後まで)										○						
			500~1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり500ミリリットル	は種時~緑化期(但し、は種14日後まで)												○				
ダコニール粉剤	TPN粉剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり15~20g	は種前										○						
タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	1回	1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり1リットル	は種時								○								
			500倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり500ミリリットル	は種時										○						
		2回以内	1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり1リットル	は種時又は発芽後												○				
			500~1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり500ミリリットル	は種時又は発芽後												○				
タフブロック	タラロマイセス フラバス水和剤	-	200倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり希釈液200ミリリットルを土壌灌注する。	は種時覆土前										○						
ナエファインフロアブル	ピカルプトラックス水和剤	2回以内	1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり0.5リットル	は種時											○					
			2000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり0.5~1リットル	は種時												○				
			1000~2000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり0.5リットル	は種時から緑化期												○				

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	いもち病(苗いもち)	褐条病	こま葉枯病	白葉枯病	苗立枯細菌病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(リゾーブス菌)	苗立枯病(トリコデルマ菌)	苗立枯病(フザリウム菌)	苗立枯病(白絹病菌)	もみ枯細菌病	幼苗腐敗症(イネもみ枯細菌病菌)	幼苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	
ナエファイン粉剤	ピカルブトラゾクス粉剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり6~8g	は種前								○	○		○					
バリダシン液剤	バリダマイシン液剤	1回	1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり希釈液500ミリリットル	は種時~発病初期							○					○				
フジワン粒剤	イソプロチオラン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50~75g	苗の緑化期~移植直前まで	○															
ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり1g	は種前	○															
		2回以内	1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり1リットル	は種時~は種7日後頃	○															
				は種時1回又はは種時とは種7日後頃の2回										○						
			500~1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり500ミリリットル	は種時													○			
は種時~は種14日後まで	○																			
				は種時1回又はは種時とは種7日後頃の2回									○							

*「高密度に播種する場合」については、農薬ごとの適用状況及び使用量をご確認ください。

稲(育苗箱):単剤(殺虫剤)

令和8年1月31日現在

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	ウンカ類	セジロウンカ	ヒメトビウンカ	イネシンガレセンチュウ	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
アレス箱粒剤	オキサゾスルフィド粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○				○	○	○	○	○	○	○
				は種時(覆土前)～移植当日	○				○	○	○	○	○	○	○
ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり40～70g	移植前3日～移植当日					○	○					
			育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50～70g				○							○	
			育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり70g					○							
グランドオンコル粒剤	ベンフラカルブ粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植3日前～移植当日		○	○	○	○	○		○		○	○
				移植当日									○		
ゼロカウント粒剤	スピノサド粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前						○					
				は種時(覆土前)～移植当日						○			○		
				移植2日前～移植当日								○			○
フェルテラ箱粒剤	クロラントラニプロール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前					○	○	○	○	○		○
				は種時(覆土前)～移植当日					○	○	○	○	○		○
				移植当日										○	
プリンス粒剤	フィプロニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○				○	○	○	○			○
				は種時(覆土前)				○							
				は種時(覆土前)～移植当日	○				○	○	○	○	○		○
ワンリード箱粒剤08	クロチアニジン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○				○	○				○	
				は種時(覆土前)～移植当日	○				○	○				○	

* 「高密度には種する場合」については、農薬ごとの適用状況及び使用量をご確認ください。

稲(育苗箱):混合剤

令和8年1月31日現在

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	白葉枯病	内穎褐変病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(フザリウム菌)	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	穂枯れ(こま葉枯病菌)	もみ枯細菌病	紋枯病	稲こうじ病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
Dr. オリゼスター クル箱粒剤OS	ジノテフラン・プロベ ナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	移植3日前～ 移植当日	○										○	○	○			○	○	
Dr. オリゼフェル テラ粒剤	クロラントラニプ ロール・プロベナ ゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	緑化期～移 植当日 移植3日前～ 移植当日	○							○					○	○		○	○	○
Dr. オリゼプリン ス粒剤10	フィプロニル・プロベ ナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり30g	移植3日前～ 移植当日	○												○					
			育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	緑化期～移 植当日 移植3日前～ 移植当日	○	○													○	○		○
Dr. オリゼリディ ア箱粒剤	フルピリミン・プロベ ナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	移植7日前～ 移植当日	○	○																○
				移植3日前～ 移植当日					○													○
アンコール箱粒 剤	クロラントラニプ ロール・トリフルメゾ ピリム・トリシクラゾ ール粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	移植3日前～ 移植当日	○											○	○	○	○	○	○	○
オリゼメートプリン ス粒剤	フィプロニル・プロベ ナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	移植3日前～ 移植当日	○											○	○	○	○	○	○	○
ゴウケツバスター 箱粒剤	ジノテフラン・トルブ ロカルブ粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	移植3日前～ 移植当日	○	○	○					○				○	○	○		○	○	○
スクラム箱粒剤	クロラントラニプ ロール・トリフルメゾ ピリム・イソチアニ ル・ペンフルフェン 粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	は種時(覆土前) ～移植当日	○								○									
				移植3日前～ 移植当日				○	○													
スタウトアレス箱 粒剤	オキサゾスルフィル・ イソチアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
				は種時(覆土前) ～移植当日				○											○	○	○	○
スタウトアレスモ ンガレス箱粒剤	オキサゾスルフィル・ イソチアニル・インピ ルフルキサム粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	は種時(覆土前)																		
				は種時(覆土前) ～移植当日	○	○	○															
スタウトダントツ箱 粒剤	クロチアニジン・イソ チアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
				は種時(覆土前) ～移植当日				○											○	○	○	○
スタウトパディー ト箱粒剤	シアントラニプロ ール・イソチアニル粒 剤	1回	育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5リッ トル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
				は種時(覆土前) ～移植当日				○											○	○	○	○

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	白葉枯病	内穎褐変病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(フザリウム菌)	苗腐敗症(もみ枯細菌病)	穂枯れ(こま葉枯病)	もみ枯細菌病	紋枯病	稲こじ病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ
タチガレエースM液剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタラキシルM液剤	1回	1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり1リットル	は種時					○	○												
			500～1000倍、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり500ミリリットル	は種時又は発芽後						○	○											
タチガレエースM粉剤	ヒドロキシイソキサゾール・メタラキシルM粉剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり6～8g	は種前					○	○												
ダントツオリゼメート10箱粒剤	クロチアニジン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○										○	○	○					○
ツインターポフェルテラ箱粒剤	クロチアニジン・クロラントラニプロール・インチアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○				○											
				は種時(覆土前)	○	○	○					○						○	○	○	○	○
ツインターポ箱粒剤08	クロチアニジン・インチアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○				○	○	○									○
				は種時(覆土前)	○	○	○					○	○					○	○	○		
ツインバディート箱粒剤	シアントラニプロール・インチアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○	○			○	○	○									○
				は種時(覆土前)	○	○	○					○	○					○	○	○	○	○
トリプルキック箱粒剤	シアントラニプロール・シメコナゾール・トルプロカルブ粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前	○	○	○															○
				は種時(覆土前)	○	○	○															
ビームバディート箱粒剤	シアントラニプロール・トリシクラゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○											○	○	○	○	○		○
ビームプリンス粒剤	フィプロニル・トリシクラゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○										○	○	○	○	○			○
ピカピカ粒剤	フィプロニル・インプロチオラン・ピロキロン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○										○	○	○	○	○			
ビルダースターク箱粒剤	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○										○							○
				移植3日前～移植当日																		
ビルダーフェルテラチェスGT粒剤	クロラントラニプロール・ピメロジン・チフルザミド・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○										○							○
				移植3日前～移植当日																○		
ビルダープリンスグレータム粒剤	フィプロニル・チフルザミド・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○										○							○
				移植3日前～移植当日																		
ファーストオリゼプリンス粒剤10	フィプロニル・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種時(覆土前)	○	○	○				○	○			○	○	○	○	○			○
ブイゲットプリンス粒剤10	フィプロニル・チアジニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○	○										○	○	○	○			○

農薬名	農薬種類名	回数	使用量・方法	使用時期	いもち病	白葉枯病	内穎褐変病	苗立枯病(ビシウム菌)	苗立枯病(フザリウム菌)	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	穂枯れ(こま葉枯病菌)	もみ枯細菌病	紋枯病	稲こらじ病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	フタオビコヤガ	ツマグロヨコバイ	イネツトムシ	
																							は種前
ブーンアレス箱粒剤	オキサソスルフィル・ジクロベンチアゾクス粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前 は種時(覆土前) は種時(覆土前)～移植当日	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブーンアレスモンガレス箱粒剤	オキサソスルフィル・インビルフルキサム・ジクロベンチアゾクス粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種時(覆土前)～移植当日	○	○	○				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブーンゼクテラ箱粒剤	クロラントラニプロール・トリフルメゾピリム・ジクロベンチアゾクス粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前 は種時(覆土前) は種時(覆土前)～移植当日	○			○		○				○									
ブーンハーデス箱粒剤	スピネトラム・トリフルメゾピリム・ジクロベンチアゾクス・ペンフルフェン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱あたり50g	は種時(覆土前)～移植当日 移植3日前～移植当日	○								○		○		○					○	
ブーンレパード箱粒剤	テトラニプロール・ジクロベンチアゾクス・ペンフルフェン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前 は種時(覆土前)～移植当日 移植当日	○							○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
フジワンプリンス粒剤	フィプロニル・イソプロチオラン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	緑化期～移植当日	○								○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルサポート箱粒剤	イミダクロプリド・スピノサド・チフルザミド・トリシクラノール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植2日前～当日	○								○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
フルスロトル箱粒剤	シアントラニプロール・トリフルメゾピリム・イソチアニル・ペンフルフェン粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種時(覆土前)～移植当日 移植当日	○	○						○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ルーチンデュオ箱粒剤	シアントラニプロール・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前 は種時(覆土前) は種時(覆土前)～移植当日	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロングリーチ箱粒剤	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植3日前～移植当日	○										○	○	○				○	○	○
ワンリードSP箱粒剤	クロチアニジン・スピネトラム粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前 は種時(覆土前)～移植当日											○	○	○	○	○	○	○	○	○
箱いり娘粒剤	クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル・フラマトピル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	移植7日前～移植当日	○	○	○				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
箱王子粒剤	クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル粒剤	1回	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5リットル)1箱あたり50g	は種前 は種時(覆土前) は種時(覆土前)～移植当日	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○

*「高密度に播種する場合」については、農薬ごとの適用状況及び使用量をご確認ください。